



【発行所】
 独立行政法人国立病院機構 岩手病院
 岩手県一関市山目字泥田山下48
 Tel : 0191-25-2221
 Fax : 0191-25-2157
<http://www.hosp.go.jp/~iwate>
 発行責任者 櫻井 誠

新年のご挨拶

——なんてすてきなんでしょう。この絵を部屋の中に飾ったら、まるでもうひとつ新しい窓ができるようだよ！

——原田マハ：たゆたえども沈まず。
 幻冬舎，電子書籍，2017，27%

病棟各階の階段室西壁には縦に細長い窓が2つ並んでいて、そこから須川岳（栗駒山を一関方面からみた呼称）が遠く望めます。冬晴れの午前中には、雪に覆われて山頂と稜線を際立たせた山容が青空を背景にひかり輝いて見え、なんてすてきなんだろうと思います。階段室の壁を床の間に見立てたら、この窓越しの眺望はまるで一幅の掛け軸をみるようです。もっとも、近頃では窓ガラス外面の汚れが目立ってきて、須川岳を望むたびに、しっかりメンテナンスしていかなければという思いが募ります。

明けましておめでとうございます。皆さんとこのように新年を迎えることができ、たいへん嬉しく思います。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

まず、岩手病院の昨年を振り返ってみましょう。

特筆すべきは、足掛け3年、年10床ずつ増床してきて、やっと250床フル稼働に漕ぎ着けたことです。次に、障害者施設等入院基本料7対1を計画通り取得できたことです。5個病棟すべてが障害者病棟、しかも入院の40%近くを医療介護度の高い超重症・準超重症者が占める当院にとって、障害7対1を取得し維持することは医療の質を保証するうえでも非常に重要です。そのほか、給食業務の完全外部委託、院内保育所の病院運営への変更、病棟建替え2年後点検などもありました。また、病院の基本方針の一部を改定し、チーム医療において患者さんやご家族にも積極的に関わってもらうという姿勢を改めて明文化したことも記述しておくべきかと思ひます。

以上のように、去年はさまざまな出来事がありました。平成30年をキャッチーに表現すれば「岩手病院の陣容が整った年」と要約できます。陣容とは何かと言いますと、250床・障害7対1です。これから先、この陣容／体制で当院はやっていくのです。次のようにイメージすると分かりやすいでしょう。すなわち、間口「250床」奥行き「障害7対1」を土台として、これから先、医療の質を積み重ねて高層化していくのだと。

翻って、今年の課題は何でしょうか？

当然、足元をより強靱化させながら、高さを次々と高くしていく活動です。思い浮かぶまま列挙しますと、医療の質（診療レベルだけでなく、安全・安心も含む）を向上させる努力、職場環境の改善・働き方改革、教育と研鑽、IT基盤整備などです。これらを見て分かるように、過去3年とは違って大きなイベント（病棟建替え、電子カルテ導入、増床、障害7対1取得など）はなく、地道にコツコツと継続して取り組むべき案件が多いのです。その延長線上、いつか遠くない将来に外来棟・管理棟の建替えを実現したいと強く念じています。なお、予定されている改元の影響も、少なからずあるだろうと予想します。

とにかく、すべきことはたくさんあります。皆さん、協力して元気にやっていきましょう。そして、今年が明るく良い年になりますように。

病院長 千田 圭二



第72回国立病院総合医学学会に参加して

運動療法主任 山崎 健太郎

このたび、私は平成30年11月9日金曜日・10日土曜日に開催された第72回国立病院総合医学学会にてポスター発表をしました。発表内容は、当院で平成30年2月に開催しましたNHO理学療法士協議会北海道東北部会の主催した研修会についてです。



会場で全国の協議会状況を基にしたご意見をたくさんいただきましたことは、これからの協議会活動に向けて大きな励みになりました。今後も臨床活動と並行しながら、NHO内の理学療法士のスキルアップ支援にも積極的に取り組みたいと思ひます。

最後に今回の発表に協力していただいた皆様、このような貴重な機会を与えてくださった皆様はこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

院内カンファレンス 接遇研修へ参加して

5病棟 糟川 歩

私は12月13日木曜日、仙台医療センター副看護部長の鈴木弘美先生による当院での接遇研修に参加しました。

仙台医療センターでは、接遇向上部会を多職種で構成し、病院全体で接遇の向上に取り組んでいます。私も病棟で患者サービス係として、接遇の意識を高めるために標語を掲示したり、接遇チェック表を作成・実施し、より良い対応の試行錯誤を重ねて取り組んでいます。

当院では、自分の意思を言葉で表現できる患者さんは多くはありません。訴えられない患者さんの気持ちに対してスタッフがどれだけ心遣

い、配慮できるかが接遇向上の1歩だと思います。

患者さんが安心・安楽に生活できるよう、これからも接遇向上に向けて取り組んでいきます。



診療報酬適正化研修に参加して

専門職 佐藤 由記子

11月13日火曜日と14日水曜日の2日間、国立病院機構本部にて開催された研修に参加しました。

内容は機構の経営状態、請求取り事例の解説、自主返還の状況、精度調査から見る課題と解決策、



グループワークです。

カルテ記載が不十分な場合には、訴訟等でカルテ開示の際に妥当性がないと判断されたり、診療報酬の監査指導時は算定要件を満たしていないために多額の返還を求められる事があります。

適切な保険請求を行うためにも、適切なカルテ記載をお願いします。

平成30年度「NHOの先輩と語る会」に参加して

あすなる4病棟 看護師 佐山 玲

11月22日木曜日に国立病院機構山形病院附属看護学校で開催された、2年生対象の病院説明会に参加してきました。

当院を含め北海道東北グループ内の6施設が参加し、各施設が病院紹介をした後に学生とのフリートーキングを行いました。学生からは『病棟の雰囲気』と『新人研修の内容』を重視した質問が多く寄せられました。

私は入職して2年目になります。その経験の中から、「岩手病院の看護は患者さんの気持ちに思いを寄

せ、患者さんが笑顔になれるよう個別性を大切にしている。」と説明すると、興味を持ってくれる学生もみられました。

少しでも多くの学生が当院の看護に興味を持ち、今後の進路を考える際に役立てていただけたら良いと思いました。



岩手医科大学5年生「地域医療実習」について

臨床研究部長 豎山 真規

それぞれの地域の社会的状況とそで行われている医療を学ぶ目的の実習です。11月12日月曜日から1週間、2人の男子学生さんが当院で実習を行いました。

患者さん方がどのような治療を受けているのか、また地域や病院はどのような問題に対応しているのかを、医療チームの一員として現場を体験しながら学びました。在宅医療にも同行し、患者さんとそのご家族にもお会いしました。大学病院では経験できないような医療の現場を知ってもらえたと思います。

お二人はそれぞれ消化器内科医、小児科医を目指しているとのこと。勉強熱心でやさしい学生さん方で、

すばらしい医師になると思います。実習にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



平成30年度前期QCサークル活動発表会開催

業務班長 佐藤 友紀

今年度前期QCサークル活動発表会が11月19日月曜日に開催されました。例年より少ない4サークルの登録でしたが、日常で起こっている各職場の様々な問題を半年間の活動した結果が発表されました。

審査結果は療育指導室の「スムーズな電話対応に向

けて」が最優秀賞に輝きました。表彰式は12月19日水曜日の病院忘年会の中で行われ、各サークルに表彰状と副賞が授与されました。

後期発表は3月を予定しています。多くのサークルが活動し、業務改善に繋げてほしいと思います。

平成30年度前期QCサークル活動発表会各賞

最優秀賞

スムーズな電話対応に向けて（療育指導室）

優秀賞

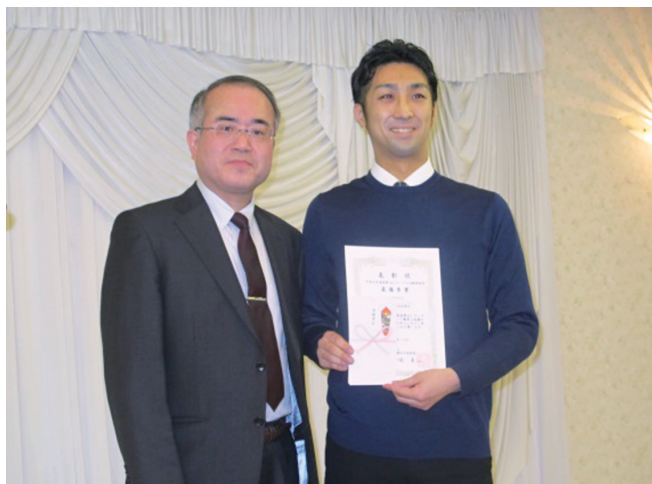
足関節MRI 楽しく綺麗に簡単に（放射線科）

準優秀賞

お風呂でスッキリ爽快感～清潔で安楽な入浴を目指して～（あすなろ4病棟）

病院長賞

事務イノベーション～事務職員の長時間労働対策～（事務部）



対策の立案

◎--5点 ○--3点 △--1点 合計が10点以上の対策を実施

主要因	対策	効果	持続性	評価
担当者がわからない	病棟配置早見表作成	◎◎○	◎◎○	13点 ★
	業務担当早見表作成	◎◎○	◎◎○	13点 ★
担当者の居場所、予定がわからない	月・週のスケジュール作成	◎◎◎	◎◎◎	15点 ★
	1日の行動予定表記入	◎◎◎	◎◎○	13点 ★
	指導室職員全員PISを持つ	◎◎△	◎△○	9点
電話の操作方法を理解していない	電話操作・対応マニュアル	◎◎◎	◎◎◎	14点 ★
担当者が電話に出られないときの対応がわからない	伝言メモ作成	◎◎◎	◎◎○	13点 ★
患者さんの病棟がわからない	患者名簿一覧の作成	◎◎◎	◎◎◎	15点 ★

クリスマスツリーコンテスト開催

業務班長 佐藤 友紀

岩手病院では、毎年12月に各職場にクリスマスツリーコンテストの参加を募ります。

今年は、各職場で創作された鮮やかな11本のクリスマスツリーを11月30日金曜日から12月14日金曜日までの約2週間外来ホールに飾り、お見舞いに来られた方や外来患者さんから投票をいただきました。

投票の結果、600票を超えて2位を大きく引き離れた2病棟が1位に輝きました。表彰式は12月19日水曜日



の病院忘年会の中で行われ、表彰状と副賞、優勝トロフィーが贈られました。



診療体制 (平成31年1月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
神経内科	午前(再来)	豎山	工藤 ※物忘れ、頭痛など	千田(圭)	千田(光)	今野
	午前(新患)	千田(光) (第1、3) 今野 (第2、4)	阿部	豎山	小野	千田(圭) ほか
	午後	※HAL外来 今野 (第1、3、5週)				※リウマチ外来 千葉(実) (最終金曜)
呼吸器科		芦野	櫻井	芦野 (禁煙外来)	櫻井	芦野
内科		櫻井 予約者のみ		櫻井 予約者のみ	阿部	佐藤(良)
外科		平野 予約者のみ	平野		平野	
小児科			田澤		仙台医療センターから (月2回 第2、4)	※重症心身障害 大沼
リハビリテーション科		佐藤(智) ※ボトックス外来、 AGA外来など			宮	
歯科		佐藤(敦)	佐藤(敦)	佐藤(敦)	佐藤(敦)	
その他	専門外来(赤字で表記)は、すべて予約制です。 予防接種は、火・木 9:00 ~ 11:00 の完全予約制です。			※心療内科外来(午後) 伊藤 ※消化器内科外来 仙台医療センターから ※アレルギー(第2週) 千葉(友)	※皮膚科外来 東北大学から	※循環器内科外来 羽根田 (第1、3週)

職場紹介 — あすなる5病棟 —

「今日は何かいいいことあるのでしょうか？」高台の強い日差しを和らげてくれる薄橙のカーテンと患者さんのあいさつで今日の1日が始まります。

6歳から80歳までの50名の患者さんと看護部・指導員・保育士、全スタッフ41名が毎日元気いっぱい過ごしている病棟です。

療養(生活)・医療・教育の3つの柱をバランス良く調整し、生活環境を整え、患者さんやご家族が安心して笑顔でいられるような病棟を目指しています。



行事には職員総出で出演。すべては患者さんの笑顔のために！自分たちも一緒に楽しんでいます。

看護師長 菅原 育子

【編集後記】 新年明けましておめでとうございます。今年の干支は「亥」になります。猪で思い起こされる言葉に「猪突猛進」がありますが、その意味は「目標に対して、向こう見ずに突き進むこと」。少々否定的な意味に取られやすい言葉です。5月には新元号に変わりますが、新しい時代に猪突猛進ではなく、猪には関係なくなりますが前向きな言葉の「勇往邁進(目標や夢に向かって勇敢に進んでいく)」でいきたいと思ひます。

(診療放射線科)